

市民のみなさんの声を市政に…



市からの主な事業説明

本町アパート・市民交流プラザについて

「本町アパート・市民交流プラザ」は、市営住宅、ホール、キッチンスタジオ、子育て支援などの複合的なサービスを提供できる施設で、11月にオープンする予定です。地域コミュニティを再生し、中心市街地の賑わいを創出するために整備しています。

1階から4階は市民交流プラザ、5階から12階は市営本町アパートを建設しています。市民交流プラザは、1階がキッチンスタジオやコミュニティルームなど、2階から3階は、ホールや楽屋、ラウンジ、会議室を整備。4階には、こども未来館や子育て相談室、談話室などを整備します。

「長崎がんばらんば国体」「長崎がんばらんば大会」の開催について

いよいよ10月から「長崎がんばらんば国体・大会」を開催します。「熱く燃えよう大村から！」を合

言葉に、まちを花いっぱいにしてお迎えする「花いっぱい運動」、ごみのないきれいなまちでお迎えする「環境美化運動」、訪れる皆さまに笑顔で声掛け、大村のよかとこを全国にPRなどに取り組み、国体開催の成功に向けて市民の皆さまのご協力をお願いします。また、半世紀に2度の国体開催ですので、多くの皆さまの観戦、応援をお願いします。

新大村市立史料館整備基本方針(案)について

平成30年10月に、新大村市立史料館(仮称)を、県立・市立二型図書館の施設内に開館する予定です。

現在、市では「大村の歴史を、深く、楽しく伝える」「市民の主体的な郷土学習を支援する」「貴重な歴史遺産を後世に伝える」を史料館のコンセプトとして、整備基本方針(案)を作成しています。市民の皆さまのご意見をお願いします。

【その他の項目】

○「大村湾サミット」「大村湾フェスタ」の開催について

○災害時要援護者に関する情報共有協定の締結について

○大村市新幹線新大村駅(仮称)周辺地域まちづくり計画の策定について

○県立・大村市立二体型図書館について

各地区からのご意見

町内会未加入者への市の加入促進の取り組みについて

市主催の行事や災害時の対応対策など、町内会加入者には知らせることができるが、未加入者へは知らせることができていない。市として未加入者へ加入促進を啓発してもらいたい。

市道の除草作業について

各地区で市道の除草作業が6月～8月頃に行われているが、草が生い茂るのが早く、その道路を通路路として利用している子ども等の交通事故などの危険性が高いため、除草作業の時期を早くするようをお願いしたい。

また、地元で除草作業を委託する際の契約額が、20年余り見直





されていません。燃料費など、必要経費の単価は上がっているため、契約単価の見直しを要望したい。

防火水槽の設置について

先般の民家火災では、近くに手ごろな防火水槽がなかったため、遠方の防火水槽や自然水を使って、ホースを繋いで中継して消火にあたった。この近くに消防設備の設置をお願いしたい。

少子化問題について

少子高齢化が進んでいるにもかかわらず、全国的に結婚年齢が高くなり、結婚しない人が増加しているようだ。行政として相談窓口などを開設したり、雇用の場と育児しやすい環境をどのようにつくるのか、具体的なビジョンを示していただきたい。

公民館へのAEDの設置について

市内の170か所にAEDが設置しているとホームページに掲載しているが、町内の公民館には設置されていません。高齢者の利用も多いため、急にAEDが必要になるのではと心配している。公民館にもAEDを設置し、取扱方法の講習会を開いてほしい。

鈴田峠の道の駅への防災行政無線スピーカーの設置について

住民センターに防災行政無線スピーカーを設置されると聞いていますが、来年度整備される予定の道の駅までは斉放送が聞こえづらい。道の駅は災害時の避難場所になりうるので、道の駅に設置するなど検討していただきたい。

災害時避難所での聴覚障害者などへの情報提供について

東日本大震災では、聴覚障害者や老人など情報を得ることが困難な人が、配給物などの情報が得られず、何も貰えなかったそうです。災害時、避難所にはさまざまな人が避難してくるので、避難所に平等に情報が入るような制度、聴覚障害者用の機器などを設置していただきたい。

フリーワイファイ設備の設置について

外国では主要ターミナルや主要観光地でもワイファイを利用できる環境が整っている。10月には国体も開催され、国内外からさまざまな人が大村を訪れるだろう。その中にはタブレット端末を持って来られる人もいると思うが、公共施設

設でワイファイが利用できないことをどう思われるだろうか。市役所などの公共施設にフリーワイファイの設備を設置していただきたい。

教育現場での違法・危険ドラッグへの対応について

違法・危険ドラッグはニュースなどで話題になっているが、学校ではどのような教育をし、今後どのように指導していくのかお伺いしたい。

生ごみ収集のステーション化について

平成8年度から町内で生ごみ収集のステーション化を行っているが、他の地区では、門戸にゴミが置いてあるのを見かけるし、多くなっているように感じる。数年前にステーション化されているのは43パーセントと聞いたが、現在どの程度になっているのか。また、国体も行われるので、もう少しステーション化を進めていただきたい。

このほかにも、道路や河川、公園の整備に関する要望を始め、教育問題、環境問題など、さまざまなご意見をいただきました。これらのご質問やご要望の具体的な対応策などは、後日、各住民センターなどを通してお知らせします。

■地域げんき課(内線185)

地区別ミーティング参加者数

とき	地区	ところ	参加者数(昨年)
7月3日(木)	三浦	三浦かんさく会館	64人(39人)
4日(金)	竹松	郡コミセン	61人(32人)
7日(月)	松原	松原住民センター	34人(35人)
8日(火)	萱瀬	萱瀬 //	54人(48人)
14日(月)	福重	福重 //	35人(51人)
15日(火)	西大村	中地区公民館	82人(84人)
16日(水)	大村	市コミセン	46人(57人)
18日(金)	鈴田	鈴田住民センター	43人(37人)
合計			419人(383人)

開催時間:午後7時~9時